

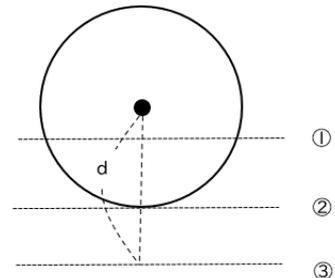
<ポイント> 円とおうぎ形(2)

○円の半径を r 、円の中心から直線までの距離を d とすると、以下のことがわかる。

① $r > d$ のとき、円と直線は2点で交わる。

② $r = d$ のとき、円と直線は1点で交わる。

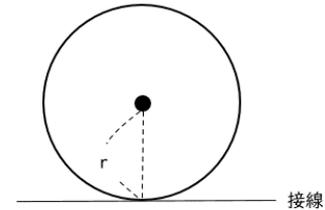
③ $r \leq d$ のとき、円と直線は交わらない。



○円と直線が1点で交わる時を特別に接するといい、

接している場所を接点という。また、このときの直線

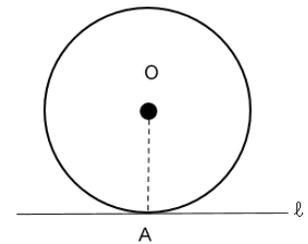
ことを接線といい、接線と半径は垂直に交わる。



【1】右の図は、円Oと直線 l が円周上の点Aを接点として

接している図です。このとき、直線 l と線分OAの関係を記号で

表しなさい。 ()



【2】半径6cmの円があります。円の中心Oと直線との距離が①～③のようにになっているとき、

円Oと直線との位置関係はどうなるかを、あとのア～ウから選びなさい。

- ① 4cm ② 6cm ③ 9cm

- ア 接している イ 2点で交わっている ウ 交わらない

- ① のとき() ② のとき() ③ のとき()